

壬生町庁舎建設委員会 会議録

会議名：第10回壬生町庁舎建設委員会

日時：平成30年10月1日（月） 午後2時～午後3時35分

場所：壬生町役場 2F 正庁

出席者：委員16名

三橋 伸夫、大西 良雄、山縣 博司、篠原 秀策、青木 隆司、毛塚 重徳、田中 一男、藍田 収、松本 幸三、大橋 和枝、大橋 信行、落合 広美、廣田 香織、田口 英二、奈良部 好司、佐々木 顯

事務局7名

櫻井副町長、出井総務部長、増山新庁舎建設室長、葭葉室長補佐、糸川主査、古川主査、とちぎ建設技術センター（1名）

傍聴人数：2名

【議事内容】

1 開 会

2 諮 問

○小菅町長から三橋委員長へ諮問書を提出

○小菅町長退室

3 前回会議録の確認

○委員長より、今回の会議録署名人について以下のとおり指名

【会議録署名人：19番 田口英二委員、20番 奈良部 好司委員】

○本日傍聴を希望されている2名について、傍聴を許可してよいか委員に確認

⇒ 委員から異議なしの声があったため会議は公開とし、傍聴希望者が入場。

○委員長より、前回会議録の内容について修正等がないか委員に確認

⇒ 委員より特に修正等の意見なし

4 議事

(1) 壬生町新庁舎建設基本計画（素案）について

委員長）基本計画は、事業の次のステップとなる基本設計・実施設計へ適切に反映させるための基本的な方針となるもの。皆様へ前回お示しした基本計画（素案）につきましては、議会庁舎建設特別委員会からは、9月14日に町執行部へ意見書の提出があり、町議会におきましては了承された形となっている。前回の審議内容を踏まえて修正が加えられた素案について、本日改めて委員の皆様へに審議をしていただき、諮問に対する答申という形で町執行部へ示したいと考えている。

まず基本計画（素案）について、事務局の方から修正内容等について説明をお願いしたい。

○事務局より基本計画（素案）の修正箇所について説明（資料の修正箇所については赤字で表示）

委員長）基本構想のまとめの段階でも委員の方から一人ずつ発言をいただいたと思うが、素案に対する感想でも質問でもいいので、今回も一人ずつ意見をいただきたいと思う。

委員）前回の会議でも指摘させていただいたが、私は庁舎の中で働く方が気持ちよく働けるようにというのが一番大事だと思っている。外部の人は一週間に1回とか一か月に1回、あるいは年に数えるほどしか来ないと思う。庁舎の中で働く方については毎日利用するので、気持ちよく働ける、また気持ちよく外部の方に対応できるという話をしたが、素案の方に反映されており有り難いと思

っている。もう一点、今年は温暖化等により日中は40度近い暑さになったが、特にアスファルトに停めた車が非常に高温になってしまうため、高温になりにくいアスファルトについても話をしたが、そちらについてもきちんと反映されていたため有り難いと思っている。

委員) 検討すればするほど欲が出てしまい、事業費が限られている中で結局のところ検討倒れになってしまうのではないかと懸念している。もちろん働く人の立場や使う人の立場からの意見はあると思うが、事業費との兼ね合いについてももう少しよく考えた方がいいのではないかと思う。

委員長) その点は、専門家である設計者の方で最終的な調整を行うため、あらかじめ付度をする必要はないので、こういう機能が欲しいというのは遠慮なく出していただいた方が良い。

委員) 異常気象で大雨なども多いが、新庁舎の避難場所としての位置付けなどはどうなるのか？

建設室長) 災害発生時への対応という点については、新庁舎は防災拠点ということで、災害が発生した際の司令塔となる場所であり、またある程度避難所としての機能も備えることとしている。また、電源や飲料水の確保、備蓄倉庫も隣接して整備する予定であり食糧も確保する予定である。また、学校や公民館などの施設が避難所として指定されているが、そういった施設を管轄する機能も持つことになると思う。

委員) 新庁舎は災害拠点ということで、建設予定地は西側の恵川が氾濫してもあそこまでは水が上がって来ず、黒川が氾濫しても大丈夫な場所だと思う。また温暖化ということで、駐車場のアスファルトが大変熱くなり危険なので、所々植樹して日陰を作るようにし、そこにベンチなんかを置くといいのではないかと思う。

委員) 行政サイドの方で検討体制を整えており、これまでの委員からの意見もきちんと集約されている。また町議会においても前向きな意見をいただいていることに加え、町民に対しても3回の意見交換会を開くなどきちんと段階を踏んだ検討を行っており、ほっとしている。また、委員会の意見についても積極的に取り入れてくれているようなので感謝している。今後も予期しないことは出てくると思うが、細やかな検討を行いながら進めて行き、より良い庁舎を建設して欲しい。

委員) 皆様の綿密な意見等を検討していただき、より良い庁舎を建設していただくことを願います。

委員) 地域住民との意見交換会の中でも、現庁舎の跡地の利用や旧壬生町の町おこし、あるいはCDグラウンドを利用している方への対応などの意見が出てきている。その中で公共交通については21ページの建設予定地の項目の中で触れている。しかし現庁舎の跡地をどうするか、旧壬生町の町おこしをどうするかについては意見交換会でも意見が出ているので、基本計画の中で触れておいた方がいいのではないかと思う。旧壬生町にお住まいの方は、新庁舎の建設もさることながら、街中の方をどうするのかということに関心が傾いているので、基本計画の中で触れていただければと思う。

また、前回の委員会の中で新庁舎の壬生らしさについて出ていたと思うが、私は当初お城とかおもちやとか古墳とかそういったイメージ作るのかなと思ったこともある。ただそれは建設費用もかかるということになるので機能を優先した庁舎でいいと思うが、壬生らしさを具体的にどうするのかという点について、今回出された素案についても十分でないような気がする。私としてもそこはあまり重んずるものではないと思っているが、機能を優先しながら情報施設を充実するとか、オープンスペースで催し物をするとか、そういった形で補えるのかなと思っている。ただ、シンボリックなものは欲しいとは思っているので、例えば庁舎前にモニュメントを作るとかそういうことも考えていいのかなと思う。

それと、基本計画素案の30ページに配置計画があるが、1階には町民と接点の多い部署、町民

の活動スペースといった開放的な場所になると思う。配置については役場内の検討組織などで検討を進めてきたと思うが、1階に教育委員会を置くのはどうなのか疑問がある。教育行政の中には開放的な場所が相応しくない業務もあると思う。そのため個人的には1階ではなく中層階が良いのではないかと思う。

建設室長) 委員から意見のあった壬生らしさという点については、事務局でも検討をしてきたが、壬生には歴史や文化や自然などいろいろなものがありすぎて、どれを取りあげればいいのか分からないというのが正直なところである。ただ、例えば旧壬生、稲葉、南犬飼と3つの町と村が合併して今の壬生町があり、今度移るところはほぼ町の中心ということで、今まで60年この場所でやってきたが、新たな場所で新しい壬生町を作っていくということで、設計の中で業者とすり合わせて決めていきたいと思う。それがデザインとして現れるのか、機能的なもので現れるのかはまだ分からないが、十分に検討していきたいと思う。

それと跡地利用についてだが、基本計画においては新庁舎に限っての記載しかしていない。跡地利用については別途総合政策課の方で、内部で検討委員会を立ち上げて検討の方が始まったところである。検討していく中で、外部の方にもこういった形で検討していただくということで段取りをしているところである。

それから、教育委員会の1階への配置についてだが、基本計画では3階建てと4階建ての2パターン記載している。委員から発言があったようにデリケートな内容を扱う業務もあるので、1階じゃないほうが良いという意見もあった。また、子育て支援という点でこども未来課などと連携してワンストップで業務ができるように近くに配置したほうが良いのではないかという意見もあった。これらについては建物の構成など物理的な問題もあるので、今後さらに検討を進めていきたいと考えている。

委員) 跡地の問題については、なるべく早い機会に跡地問題を検討する会議を立ち上げた方がよい。というのも、跡地は一体どうするのかという心配がかなり広がってきている。そのため、検討を始めたということが示せれば、そういった心配を緩和できるのではないかと思う。

副町長) 庁舎移転が決まって地域の方のご心配の声は私の方にも届いている。先ほど建設室長から話があったように、総合政策課の方で勉強をしているところである。外部の方も含めた検討委員会を立ち上げることにしているが、ある程度準備をせずに立ち上げるとなると方向性が見えなくなる場合もあるので、そこは今勉強をさせていただいており、その上でいろいろな形でご提案させていただければと思う。ご心配もあるのでできるだけ早いうちにいろいろな意見をいただくということでスタートをしたいと思っており、まだ具体的な時期は定まっていないが、そんなに遅くなるということはない。この跡地活用についても庁舎と同様に50年100年の話なので、あまり慌ててもしょうがないということもあるので、いろいろなご意見をいただきながらいい形に持っていきたいと思うので、もうしばらくお待ちいただければと思う。

委員) できるだけ早めにお願ひしたい。また、前回質問の中にもあったが、配置図で休憩室があるので、職員の食事をそこでとるような形としていただければと思う。その際に、ぜひ手洗い所や洗面所を作っていただきたい。というのも、大勢が集まる場所なので、インフルエンザなども庁舎内で流行るということもあるので、できればうがいや手洗いができるような場所があるとよい。もうすでに学級閉鎖などが出てきているところもあり、インフルエンザウィルスも変わってきていると思うので、庁舎の中で流行するという心配もあるので、予防の意味を含めてそういったものを作っていただければと思う。

それから配置計画で救護室があるが、大きさが具体的には分からないがここが医務室も兼ねることになるのだと思う。職員の健康管理のために産業医を置くことになっているので、救護室と兼ねてほしいと思うが、産業医室を作っていただければと思う。

もう一点は、この配置図だと会議室が少し足りないのではないかと思う。

建設室長) 救護室については、職員についてはもちろんだが、来客者が具合が悪い時に休めるようなスペースは確保したいと考えている。それから職員の休憩室への手洗い場所の設置についてである

が、手洗いやうがいを励行し、職員についても来庁者に病気を移したりしないよう、そういった設備の方を計画していきたい。配置計画で示した会議室などについては、あくまでイメージとして機能面を表しており、大きさについて別途考えていくことになる。会議室が一つしか書いてないから一つという訳ではなく、今後の設計の中で細かく検討をさせていただきたい。

委員) 職員のリフレッシュスペースが計画に入っているのは、ゆとりある気持ちで職員が仕事ができるのでほっとしている。またキッズスペースやトイレなど細かな点に目を向けた計画となっていていいものができるのではないかと考えている。そして、壬生町らしさという点で、「色彩などを用いて効果的に壬生町らしさを表現する」とあるので、デザインなんかでもデザインを勉強している学生もいると思うので、高校生や中学生にデザインを描いてみようとか、ただ書くだけでもアイデアが一つ二つ出てくるのではないかとと思う。それと、視察候補地のなまずのモニュメントがすごくいいのではないかと考えた。

委員) 私も新庁舎ができた後の跡地について、地元の方が大変心配しているのではないかとということについて発言しようと思っていたが、すでに質問が出ており、執行部の方から説明もあったので、なるべく早く跡地については公表していただきたいと、私の方からもお願いしたいと思う。

委員) 今回の基本計画には私たちが考えていること、思っていることをほとんど網羅されていると知っている。今後の基本設計に向けて、できるだけ基本計画に沿った形で一つ一つ実現に向けて今後の手続き等を進めて欲しい。

委員) 第8回の委員会の時に子どものトイレについて意見をさせていただいたが、子育て支援スペースとして赤ちゃんの駅などの配置を検討していただいているようなので安心した。また、役場で扱うものは個人情報などプライバシーに係るものが多いと思うので、プライバシーを確保するために仕切り板を設けることがかかれており、これはすごく有り難いと思う。誰も聞いてはいないとは思いますが、窓口でプライバシーのことを話すときに隣の方が気になるなということをや前から思っていた。また、他の委員の方からインフルエンザについての質問があったが、私の疑問が、28ページの一番下に記載されている空調設備のところのパッシブデザインが快適な室内環境を作り出す手法となっているが、毎年のように予防接種を受けているが注意はしていても毎年のようにインフルエンザにかかってしまっているの、たくさんの方が出入りする庁舎なので、インフルエンザなどにも配慮した空調設備なのか疑問があるので、確認させていただきたい。

委員長) パッシブデザインとは、例えば冬などにできるだけ太陽の光などを取り入れるなど、自然エネルギーを活用するというものであり、インフルエンザが防げるかということそれはまた別の問題となるため、別の配慮が必要となる。

委員) 先ほど庁舎のデザインについての話があったが、今までは大人だけで議論しているが、子どもは突拍子もない大人が思いつかないような意見が出てくる可能性があるの、子どもに聞いてみるのも面白い意見が出てくるのではないかとと思う。これから老人が増えてくるので、自動車の免許を返納するなどすると役場に来ること自体が大変になるので、公共交通の動線も駅と役場だけでなく、効率的に病院なども回れるように考えていく必要がある。また、IT化が進んでいるので、そもそも役場に人が集まってくる必要があるのかというのが根本的なところであり、来れば高齢者に優しいとかは分かるが、これからは人を集めるのが役場の仕事になるのか、それとも機能を充実していくほうが良いのか、将来的にどうなるかは分からないがそういうことも考えていかなければいけないのではないかと。また、建てるのであれば、木をたくさん使って目に優しいものにしてほしい。また、CDグラウンドの周辺に体育館やグラウンドがあるが、そういった施設を充実させて人が集まるようにするのも一つの方法ではないかと思う。役場の跡地だけでなく、移転先の周りの整備も考えてやっていって欲しいと思う。

委員) 25ページのC案が、庁舎が真四角な形で真ん中にエレベーターを設け、4階建てで地下を作るのが良いと思う。また、栃木市役所や宇都宮市役所の来庁者駐車場がとても使いづらい。宇都宮市役所に行ったときに、どこの駐車場も満車で道路が渋滞していたため、新庁舎ではそういうことがないように大きな駐車場にして欲しい。あと、栃木市役所の駐車場はらせん状になっているが、運転が下手な人には行きにくいのでそういうのはやめた方がよい。

委員) 31ページと32ページの配置計画を見ていて、10ページに防災センターの機能を新庁舎に移設するということが書かれているが、防災センターは移設して附属建築物として建てるのか、あるいは新庁舎内に設けるのか分からないが、その点をはっきりした方がいいのではないかと。また、他の市庁舎の書類を見ていて、書庫が耐火書庫になっていたのでも、重要な書類が焼けないように耐火書庫にした方がいいのではないかと。また、建物の壬生らしさを表現するのは大変難しい問題だと思うが、壬生らしさもいいと思うが、究極的には職員が仕事をし易くて、接客マナーが素晴らしくて壬生町役場に行きたいというようなイメージアップをしっかりとすることが庁舎全体の評価に繋がるのではないかと。あまり費用はかけられないし、斬新な建物も必要ないし、堅実でしっかりとした建物であつたらいいのではないかと。そこに壬生らしさとなると、庁舎前にモニュメントを配置して壬生らしさを表現するのが良いのではないかと。

委員長) 一通り委員の皆様から意見をいただいたが、私の方から補足のコメントをさせていただくと、子どもの意見を取り入れたらというご提言については、以前にもお話したかもしれないが、お隣の下野市では基本設計の段階で、中学校からそれぞれ代表を送り出してもらい、そこでいろいろなアイデアを出し合ったりしている。また、庁舎の前の広場や、中の市民スペースにモニュメントのような像が置いてあるが、それらも子ども達と一緒に作業した結果だと聞いている。この後そういった形で設計の段階で子どもたちの関わりを持たせるのは十分できると思う。

また、地下という提案もあったが、地下を掘るといのはかなりコストと工期がかかる話になるので、一般的には壬生町の敷地条件であれば、他の機能を我慢してまで地下を設ける必要はないのではないかと。

また、壬生らしさという点については確かに難しいのだが、例えば下野市はあのモダンな庁舎からは想像できないかもしれないが、例えば外観のサッシのデザインなどの部分について、国分寺などの古い建物を連想させるような形や並び方などを取り入れるなど、分かる人には分かるが、分からない人は説明を受ければ分かるというような表現の仕方でも下野市らしさを取り入れるといった手法もある。また下野市の道の駅についても、国分寺の建物のイメージを取り入れてデザインされている。どこに壬生らしさを表現するかは建築をやる人はよく考える。なので、今日出た話で言えば、例えばおもちゃのまち、城下町、そういうキーワードを挙げて何らかの形で反映して欲しいということをおの中に書ければ、あとは専門家が努力して、パッと見てなるほどと分かるような形でやっていただけたらと思う。具体的にこう表現してと書くことは今の段階では難しいが、キーワードを書き込むことはできると思う。それが今の素案では、「歴史・文化・自然」といった抽象化された言葉なので、これをもう少し具体的なキーワードにして書き込めば、基本計画としてこれを受け止めて設計する人には伝わるのではないかと。

あとは事務局の方でこれまでの意見の整理をお願いしたいと思う。

副町長) 基本計画の中ではこれまでご議論をいただいたものが大体表現としては入っていると考えているが、先ほどあった跡地の話は基本計画の中で論じるのではなく、町として庁舎と並ぶ一つの大きな話として進めていきたいと思っている。具体的には今、外部委員会を構成するというところで進めているが、どうすれば新しく豊かなアイデアが出てくるのか、委員構成を含めて検討をしているところである。また、ご意見、ご議論の中で、今後の設計に移るに当たっての設計の思想をほぼ固めていただいたのではないかと。その中で一つは職員に対する配慮ということで御議論をいただいて

ありがたいと思う。また、教育委員会の話があったが、一方で開かれた庁舎という議論もあり、この開かれた庁舎とプライバシーというのをどういうふうにバランスを取って同じスペースの中でやっていくか。具体的に言えば、オープンスペースであればその一部にプライバシーが確保された部屋を確保したり、委員からも話があったようにカウンターでも仕切りを設けるなど配慮したり、開かれた庁舎とプライバシーに配慮された庁舎は決して矛盾はしないので、これを両立するような設計の考え方というのが、基本計画の中で盛り込めたと思う。あとはレイアウトの中では駐車場の話が出たが、委員の皆様も使い易さという点でご意見をいただいているので反映をしていきたいと思う。また、交通体系の話についても、役場と駅との関係だけでなく、町全体の交通体系を意識して検討をしているところである。世の中もどんどん変わってきており、高齢化が進むとともに、交通手段の自動化なども進んでいるので、交通体系についても跡地の活用と同じレベルで今検討をさせていただいているところである。表現的に若干加えなければいけない点はあるかもしれないが、基本的な設計の考え方は、御議論いただいたおかげでできてきたと考えている。また、壬生らしさという点について委員長からもお話があったが、キーワードをどう表現するか、今出た中ではおもちゃのまち、城下町、古墳などあるが、若い職員のワーキンググループの中で言っているのは、未来という部分をどう表現していくか、そういったものを含めてシンボリックな部分も大事にしていきたいと思う。

委員) 一点教えて欲しいのだが、設計する方はどのように選ぶのか？

建設室長) 設計者については、公募型のプロポーザルということで、設計に当たり金額の大小ではなく、設計者が町の意向を反映したものを作れるのかということで、まず設計者の信用性を確認するため、一般に公募し応募いただいた中から信用性が高い業者を選定する。そしてその選んだ業者から庁舎建設について提案をしていただき、それを審査して決定するという流れとなる。

委員長) 委員から防災センターの位置について指摘があり、その点について触れていなかったのだが、31ページと32ページの部署配置イメージに大会議室とあり、カッコ書きで災害対策本部とある。これがメインで防災センターの役割を果たすということになり、単なる会議室ではなく、有事の際には町の執行部などが集まって指揮などを行うことになるのではないかと。

建設室長) 防災センターについて補足をさせていただくと、役場の中には災害時に指揮を取るための災害本部を設けるのだが、現在役場敷地に隣接して防災センターという名称で消防団本部の詰所となっている施設があり、そちらと同じものを新しい庁舎の敷地内に設置する予定である。

委員) 一つお聞きしたいのだが、このところ台風23号、24号と風速50mとかになっている。これから先風速70mや80mなども考えられるので、そのあたりへの対応はどのようになっているのか？

委員長) 下野市などもそうだが、最近はガラスを多く使って建物を構成するというのが多い。風に対する対策という点では、室内にきちんと熱や光は取り入れるけれども、むやみに大きくガラス面は取らない方が安全ではある。ガラス面を大きく取った場合でも、ダブルスキンといって外側に二重の構造を設けて、風で物が飛んできて安全なようにすることもやるようになってきている。ただ多少コストはかかる。あとは、夏の西日というのが空調で冷やすときに電気を食うので西側には大きな窓を取らない方がいいとか、方角によって窓の大きさは考慮する必要がある。

委員長) 皆様からいただいたご要望については先ほど副町長に集約をしていただいた。いただいた意見の中で追加して修正できるところは修正をしていただいて、ただ細かい部分は設計の段階に先送りする部分もあると思う。例えば教育委員会の位置というのは実際に設計をしてみないと分からない部分がある。そのような形で、修正できるところは修正し、先送りすべきところは先送りするという形よろしいか。

【委員より異議なしの声】

委員長) それでは本日町長から諮問のあった、新庁舎建設基本計画の素案については、本日皆様からいただいたご意見を踏まえて、当委員会の総意として了承することで答申をさせていただきたいと思うがよろしいか。

【委員より異議なしの声】

委員長) それではそのような形で進めさせていただきたい。これで議事は終了となる。

(2) その他

事務局) 前回の委員会でもご連絡いたしました「先進地視察」の件について、前回の会議後、三橋委員長にもご相談させていただきながら、事務局の方で、近県等で候補地を調べ、本年5月に開庁した「埼玉県吉川市」という自治体が、整備規模や周辺の公共施設の立地状況等、非常に本町と似ており、今後の設計等を進めていく中で、かなり参考になるのではないかと考えているところであり、「埼玉県吉川市」を第1候補として調整していきたいと考えているが、いかがであるか。

【委員より賛成の声】

事務局) それでは視察先としては吉川市で調整させていただきたいと思う。日程等は先方と調整して決まり次第皆様にご連絡をさせていただきたい。

5 答 申

- 小菅町長入室
- 三橋委員長が答申書を読み上げた後、小菅町長へ答申書を提出

6 閉 会

署 名

壬生町庁舎建設委員会

委 員 田 口 英 二

委 員 奈良部好司

